

2023年 5月 29日

2022年度事業結果に対する外部評価報告書

氏名： 三成 美保

別紙の2022年度ダイバーシティ研究環境実現イニシャティブ（先端型）事業結果報告書に基づき、2022年度事業結果に対する外部評価結果を報告します。

1) 女性研究者採用比率を30.0%以上達成

意見：指摘事項について、2023年度に対応予定とのことであり、期待できる。女性採用比率（学術研究員を含まない全学平均）は、20.2%（2019年度）、23.1%（2020年度）、26.4%（2021年度）と着実に3ポイントずつ上昇しており（<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/data/data/index.html>）、2022年度については常勤教員の女性採用比率は28.63%であった（https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/data/data/images/josei_koukai2022.pdf）。女性教員在籍比率は16.3%（2019年度）、17.2%（2020年度）、18.5%（2021年度）と1ポイント程度ずつ上昇している。これらは取り組みの成果を反映していると言えよう。しかしながら、理学部と工学部の女性教員在籍比率（2019～2021年度）は10%を下回っており、顕著な伸びは見られない。理学部と工学部については、女性採用比率が全学平均より低い（ただし、2019年度は工学部で3割を超えていた）結果の反映と考えられる。今後のさらなる取り組みが期待される。なお、公表データが複数の箇所に分散しており、年度変化が確認しにくい。女性採用比率は着実な成果を挙げているのだから、もっと積極的に「見える化」をはかることを期待したい。

2) 上位職登用比率(昇任比率)の向上

意見：昇任比率（全学平均）は、21.4%（2019年度）、7.3%（2020年度）、14.5%（2021年度）と差が大きい。昇任ポストが限られているため、採用比率のような数値目標の達成が困難であることは理解できる。しかし、2021年度時点でも工学部の教授66名中、女性教授が「ゼロ」であることは、工学部の女子学生比率14.9%、修士院生女性比率14.7%、博士院生女性比率19.5%（2022年度 https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/data/data/images/joseihiritu_students2022.pdf）の現状に対して、理工系女子教育の点からも十分な説明責任が果たせないと思われる。

3) 次世代を担う若手研究者の裾野拡大

意見：国際共同研究プログラムについて、年齢制限等の見直しは評価できる。また、プログラムの一体化は、応募者にとってはわかりやすいと思われる。次世代研究者の育成については、女子中高生の理工系への関心をいかに高めるかが肝要であるが、その点でオープキャンパスのアンケート活用など、工夫が認められることは評価できる。一方、「より効果的な取り組みの実施」の具体的な内容が不明なため、取り組みの実効性については評価が難しい。

4) ダイバーシティ環境の充実と学外への波及

意見：寄付金及び企業とのパートナー関係については、コロナ禍の影響で取り組みに支障があったとのことなので、今後の取り組みに期待したい。学内では、育児・介護支援の取り組みが充実しており、男性への育児支援も高く評価できる。特に、介護支援は今後ますます重要になるので、利用状況を見ながら、ぜひ拡充を求めたい。

5) 全体に対する意見（「2020・21 年度外部評価指摘事項の未実施事項への対応報告」へのご意見もこちらにご記入ください）

意見：2022 年度に LGBTQ・通称名・姓に関する方針（ガイドライン）と要項を明示・公表したことは高く評価できる（https://www.kobe-u.ac.jp/documents/NEWS/info/svsc/2022_09_27_01.pdf）。アンコンシャスバイアスの調査（2023 年度予定）を実施する際には、学生・院生・教員（職位別・性別）・職員（職位別・性別）・役員（性別）の意識（認識）の差異（ズレ）を的確に反映するように、設問を工夫していただきたい。アンケート調査自体が回答者に内面化されたバイアスの見直しにつながることも期待したい。また、アンコンシャスバイアス克服のためにも、大学の「ジェンダー統計」については、積極的に収集・更新を求めたい。現状では、ある時点で更新が止まっていたり、重要な情報が複数の場所に散在していたりするので、「ジェンダー統計」として十分とは言えない点が残念である（<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/diversity/data/index.html>）。

以上